

## 人権あれこれ

### 『LGBTQIA+』って何？ ジェンダー平等に向けて— ジェンダー平等を考える上で大切な、性の多様性を知ろう

LGBTQIA+とは、「からだの性」と「こころの性」が一致しない人、性的志向が異性ではなく「同性や両性」の人などを指します。

今まで性の種類は「男性」「女性」の2つだけとされてきました。しかし、近年では性の種類は人間の数だけ存在すると言われていています。民主主義の先進国7カ国の中で、同性婚を認めていないのは日本だけです。日本では国民憲法により、日本での同性愛婚は認められていませんが、世界の同性婚を見てみると、2021年9月現

在、法的に認められている国は30カ国あります。

今は、少しずつゆっくりとですが、社会が変わってきています。ジェンダーについて話すると「昔はそんな人はいなかった」という言葉をよく耳にします。昔はいなかったのではなく、言い出せる世の中ではなかっただけです。

ジェンダー平等を実現するためには、今までの固定概念にとらわれず、皆が一人の人間として、その人自身を理解できるようにしていきたいものです。

- L (レズビアン) : 女性の同性愛者 (からだ・こころの性は女性で一致している)
- G (ゲイ) : 男性の同性愛者 (からだ・こころの性は男性で一致している)
- B (バイセクシャル) : 両性愛者 (からだ・こころの性が一致している、恋愛対象は両性)
- T (トランスジェンダー) : 「からだの性」と「こころの性」が一致していない人
- Q (クエスチョニング) : 自分の性がわからない、または決めていない人
- I (インターセクシャル) : 生まれつき男女両方の身体的特徴をもつ人
- A (アセクシャル) : 無性愛者 (誰に対しても恋愛感情を抱かない人)
- + (プラス) : LGBTQIA以外のさまざまな性

### 「第45回日野町解放文化祭」開催のお知らせ

8月29日に解放文化祭の実行委員会を開き、実行委員長に柴田孝志さんを選任しました。  
※詳しくは、10月20日配布のチラシをご覧ください。

テーマ 「暮らしの中に人権の輪を広げよう！」

日程 11月5日(土)、6日(日)

### 第47回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究会に参加して

下榎隣保館 指導員 中原純子

8月3日、第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究会が行われ、ヴィレステひえづで開催された「就学前学校教育 創造①・②」に参加しました。

まず、倉吉市立西郷保育園から、異年齢縦割り保育の運動会と朝活の取り組みについて、実践報告が行われました。

運動会では、5歳児のみのもりレーから、他年齢合同りレーがやりたい、と子どもたちから意見が出るなど、5歳児が3歳児をリードする心の成長が見られました。保育士もみんなで話し合い、お互いの意見を言い合ったことで生まれた、つながることの変化に気づいたそうです。

また、朝活の様子を活動新聞にして保護者にも報告し、家

庭にも共有することで、子どもたちの成長を共に感じる事ができた、と報告されました。

八頭町立八東小学校からは、授業実践からの学びについての活動報告が行われました。

「気・知・行」の「気」は、おかしなこと(不合理)に気づく。「知」は、正しいことを知る。「行」は、力を合わせて行動すると説き、教材は考える授業だと話しました。

最後に、県教育委員会人権教育課の河村さんが、「知らないと気づかない。知ることが大切。知るだけではダメ。知識として知るだけでは、ただの道具で他人事。自分事にする必要がある」と話し、自分事として考えることの大切さを学びました。

対策、お役立ち情報など  
押さえておきたい  
情報満載!

**第15回**

**獣害対策** 

**アップデート**

---

**カラスの嫌いな黄色?**

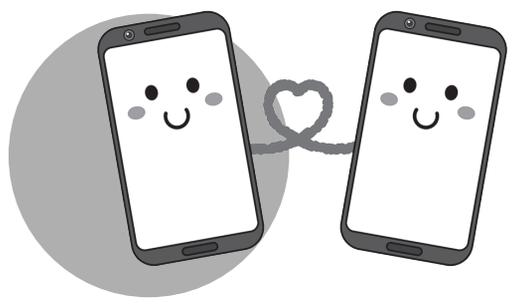
今回は、カラスは黄色が嫌  
いってホント?というお話をし  
たいと思います。  
結論から言いますと、カラス  
に嫌いな色はありません。では  
なぜ、カラスは黄色が嫌いとの  
話が広まってしまったのか。そ  
の誤解は、カラス対策で開発さ  
れたゴミ袋が黄色だったことか  
ら始まりました。  
そもそもカラスの視覚という  
ものは、人間以上に色の見分け  
が出来るのに加えて、紫外線も  
認識することができます。  
カラスの視覚(紫外線認識)  
に関するこんな実験があります。  
紫外線あり・なしの環境下で、  
本物の肉と偽物の肉(見た目は  
限りなく本物の食品サンプル)  
を見分けさせる実験を行ったと  
ころ、紫外線のある環境下で  
はほぼ100%本物を選びまし  
た。しかし紫外線のない環境下

日野郡鳥獣被害対策協議会  
川野風花【問合せ】電話 72-1399

では本物を選ぶ確率は50%  
程度に落ちます。つまり当  
てずっぽうになります。ど  
うやらカラスは餌を判別す  
る際に、紫外線を頼りにし  
ているようです。  
こうしたカラスの視覚を  
考慮して開発されたカラス  
対策ゴミ袋は、紫外線を反  
射しない特殊な黄色い顔料  
が練り込まれたゴミ袋です。  
人間は紫外線を認識しないの  
で、中身の見えるただの半透明  
の黄色いゴミ袋なのですが、紫  
外線を頼りにしているカラスに  
は中身が見えなくなってしま  
うという仕組みなのです。「紫  
線を反射しない」がミソなの  
ですが、見た目が「黄色」だ  
ったことから、「黄色いゴミ袋は  
カラスがつかない」↓「黄色  
いカラスが嫌いな色」という間  
違った情報が広まってしまっ  
たようです。  
「カラスに嫌いな色はありません」



～こんにちは、消費生活相談員です～  
**知って安心!消費生活のはなし** 



**スマホ教室を開催しました!**

携帯電話といえば、年齢にかかわらず、多数の  
人がスマートフォンを利用するようになりました。  
持ってはいても、「この表示、何?」「触ったら画面  
が変わって元に戻らない!」「変なメッセージが出  
て消えない!」など不安なこともあるようです。

役場産業振興課消費生活相談窓口では、7月12  
日、県との共催でスマホ教室を開催しました。消  
費生活相談員や、携帯電話会社のスタッフが、通  
販トラブルや不審なメッセージへの注意点、スマ  
ホの仕組みについて説明。さらに鳥取大学の学生  
2人も加わり、参加者一人一人の疑問に対して個  
別にアドバイスしました。



日野郡3町では、毎週水曜日に相談員が輪番で対応しています。(くらしのカレンダー参照)  
他役場の相談窓口もご利用ください。  
※次回の消費生活相談員来室日 9月28日(水)  
★相談は、消費生活相談窓口(役場産業振興課内)(電話 72-0336 または局番なしの188)へ!